

# えぼっくだより

No.2



HP



Facebook

2024年7月  
社会福祉法人  
えぼっく  
広報委員会 発行

令和6年度が始まり、4カ月が経過しました。  
えぼっくでは令和6年度の事業計画の基本方針として

1. 支援部門は短期入所や地域生活支援事業の利用状況をコロナ禍以前の利用状況に戻しつつ、生活介護やグループホーム支援の専門性をみかくことに重点を置く。
2. 相談部門においては、地域の多様な相談ニーズに応えるため、引き続き相談員の増員や、障がい者、生活困窮者といった制度の枠組みにとらわれない社会的に困難をかかえるあらゆる方々へのソーシャルワークを展開する。
3. 事業規模拡大に合わせた事務局体制の強化として、支援や相談の現場を下支えするだけでなく、時代の流れに合わせた法人業務全体の効率化、IT化等をすすめる。

今一度原点に立ち返り、「愛情」をもって接する、「気配り」や「気にかける」という対人援助の基本姿勢を、役職員一人ひとりが意識し実践しながら法人・事業所の運営を行ってまいります。

今年度は4名の新卒の職員が入社しています。5月11日には法人全体の研修会、懇親会を開催しました。研修会の講師として、株式会社ファイターズスポーツ&エンターテイメントの小林兼様より北海道ボールパーク F ビレッジにおける、地域との連携や共同創造空間を意識した街づくりの取り組みについてご講演いただきました。日頃からエスコンフィールド様とはフードドライブ活動での連携を行っていますが、これからも発展を続ける F ビレッジとの地域共生のために共同でできることを模索していきたいと思っております。

改めて、私たちの一つひとつの取り組みが、利用者様の笑顔や生きがいにつながる、地域の皆様にとっても必要と感じてもらえる事ができるえぼっくでありたいという想いでこれからも活動してまいります。

新入職員の皆さん



令和6年度 社会福祉法人えぼっく交流会



令和6年度 社会福祉法人えぼっく交流会

研修会講師 小林 兼 様



# えぽっく夏祭り

## ～えぽフェスタ 2024～

6月21日(土) えぽフェスタ 2024～えぽっく夏祭り～を開催しました。今年も大勢の市民の皆様にご来場いただきました。ご当地アイドルの皆様、ピエロのぐっち様、マジックジャグリングショー等のステージは賑やかに盛り上がりました。また、リズムなわとびクラブ「HAPPY JUMP」のお子様方のポップな音楽に合わせての縄跳びのステージも行われました。

出店は、くるるの杜様、長沼ハイジ牧場様にお越しいただきました。飲食コーナーではキッチンカーのモチとモフ様、心麦ディッププロ様、元気コロック様様の3台が駆けつけてくれました。

今年のえぽフェスタは利用者様と職員が一体となってお祭りを運営することを目標に、合同で実行委員会を立ち上げ、みんなでどのようにすれば楽しいお祭りになれるか話し合いながら企画しました。

来年も天候に恵まれ、また利用者様と共にパワーアップしたえぽフェスタを企画していきたいと思っております。

### えぽフェスタの様子



# ホホエム

畑作業では、利用者様と一緒に畑を耕し、イモ、インゲン、サヤエンドウ、オクラの種まき、水やりを行い、汗をかきながらも一生懸命活動に参加されていました。日に日に大きくなる苗の成長を楽しみにしています。



コロナ禍、活動を控えていた広葉交流センターいこーよでの体育館利用を再開しました。久しぶりの体育館で、利用者様は思う存分身体を動かし、ラケットやボールを持って運動を楽しみました。

また、ゴールデンウィークには栗山方面にドライブに行きました。車内では利用者様と職員でスポーツや話題のヒット曲の話で盛り上がり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



4月から喫茶れざみで北広島市内・近郊を対象としたお弁当配達を行っています。お米は北広島産を使用し、れざみの人気メニューをそのままお弁当とした、こだわりのお弁当になっています。

管理者 中谷大輔



# 地域生活支援センター

今年はグループホーム「とっとり」と「きらっと」に新しい利用者様が入居しました。

とっとりでは「利用者様の意思決定を尊重した支援」を重要な取り組みとして位置づけ、各ホームでは月に一回以上の「セレクトメニュー」をスタートしています。意思表示の苦手な方にもわかりやすく物事を伝え、ご自身で選ばれたお食事を楽しんでいただけるよう工夫しています。



☆セレクトメニュー☆ カレーのトッピングやドーナツ等、バイキング形式で選ばれています♪



☆初詣やもちつき、ひな祭りや春を探しにお散歩へ♪

地域生活支援センターとっとりでは、昨年から引き続き旅行や季節の行事など、様々な楽しみをもって生活して頂けることを目標に日々取り組んでいます。

いちばん大切にしていることは、「利用者様へ丁寧で思いやりのある支援」です。支援者は利用者様個々の生活経験や意思伝達の方法をより深く理解し支援します。日常の生活場面から始め、様々な場面でも同じような支援が出来る事を目指していきます。

地域生活支援センター長 黒川浩太

# ハニカム・あっと

今年度のハニカムでは、利用者様一人ひとりに向き合い、個性を大切に個別のケアを行い、楽しく達成感を持っていただけるよう努めています。また、虐待防止、身体拘束の取り組みとして、支援中の不適切ケアは、職員間で確認し、研修を通して振り返りを行っています。

利用者様の安心・安全を基本に環境整備にも取り組み、快適に過ごせる空間作りにも力を入れています。

管理者 加藤真姫



日中活動では、牛乳パックからの紙づくりを行っています。今年度は新たに、紙を利用した箱の中に、ドライフラワーを入れて、ポップリとして販売しています。また紙を丸めてビーズ状にし、糸に通して手作りストラップも作成しています。

作業以外にも、健康づくりのための町内散歩、トマトの苗植えをしたり、またゴールデンウィークには「えにわ湖桜公園」に出かけました。



南幌町にある2か所のグループホーム（あっと）では、12名が入居しています。

週末にはレストランに行き、好きなものを注文したり、ゲームセンターで遊んだり、天気の良い日には近隣お公園に散歩に行くなど、一人ひとりの生活スタイルに合わせた支援ができるよう心がけています。

# 八丁平共生型センターはっち

## ●ろぐらん

生活介護事業所「ろぐらん」では、医療的ケアに力を入れています。

医療的ケアとは、一般的に「病院などの医療機関以外の場所で日常的に継続して行われる、喀痰吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理、導尿、インスリン注射などの医行為」と、されています。

ろぐらんでは現在、介護職員等のたん吸引等研修（特定の者を対象とする研修〔第三号研修〕）を受け、指導看護師の下、シミュレーション試験、実地試験に合格した、3名の介護職員が喀痰吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理を行っています。これからも医療的ケアが行える職員を増やしていきたいと考えています。

管理者 吉崎理映



利用者さんの体調を確認し、姿勢を整えます

人形を使って何度もシミュレーションを行います



## ●らんらん●

八丁平共生型センターはっちは、生活介護事業所「ろぐらん」だけではなく、主に、障がいのある方が共同で暮らす住宅「があだばーと」への夜間を含めた訪問介護職員の派遣（重度訪問介護）と、プールや温泉などの余暇活動を充実させるための移動支援も行っています。

今回は、その「があだばーと」を紹介します。現在、三名が暮らしています。どんな障がいがあっても、ご家族から離れて地域で暮らし、日々の生活を支援しています。利用者様の趣味や楽しみなど、充実した暮らしの支援を行っています。



文字盤を読んで、テレビの録画予約のお手伝いをしています



絵本を読んでいる時間を楽しみにしています



# 相談室ますとびいー

相談室ますとびいーは、札幌市から委託を受けて、札幌市障がい者相談支援事業として障がいのある方やご家族、地域の方たちの様々な困りごとをお聞きし、解決方法を一緒に探す支援を行っています。相談は札幌市厚別区にお住まいの方を中心に行っており、現在、450名の方が登録され、ご利用いただいています。

ご相談については、まずはお電話で相談の概要をお聞きし、その後担当相談員が決まります。ますとびいーの基本姿勢としては、出向く相談を心がけており、直接ご自宅に訪問してご相談をお受けすることが多く、訪問件数が札幌市内の他の委託相談室の中で最も多い相談室となっています。相談内容としては、福祉サービスの利用について、日常生活全般のことなど、様々なご相談をお受けしています。

今年度4月からは、新しい相談員が2名入りました。現在、社会福祉士・精神保健福祉士などの資格を持った11名の相談員が働いており、職員の平均年齢も年々若くなっています。

4月には、例年開催している防災に関する研修会を開催しました。今年は2名の新任職員が入ったので、これまで作成した災害対応プランの見直しと新たに作成した感染症BCP（事業継続計画）の読み合わせを行いました。また、感染症対策の際の備品について意見を出し合ったり、業務継続について、これまでのコロナウイルス対応事例を思い返しながら、より実践的な内容で見直しを図っています。次回は、10月に机上訓練の実施を予定しています。

また、法人内のきたひろしま暮らしサポートセンターぽるとと連携し、フードドライブ事業にも力を入れています。店舗にフードの集荷に伺ったり、集荷したものを配布する先を開拓するため、厚別区内の子ども食堂などへ連絡し、受け取っていただける先を探すこともしています。

今後も相談室ますとびいーでは、相談者の方が安心して相談できる厚別区の相談窓口として、相談員のレベルアップを図りながら活動していきたいと思えます。

また、8月1日より札幌市から新たに相談支援事業を受託し、北区にて「相談室ぽぷら」を開設いたします。えぼくで2か所目の委託相談支援事業所になります。北区にお住まいの方を中心に相談をお受けいたしますので、お困りごとがありましたら、ぜひご活用下さい。

管理者 松島綾子



防災研修の様子



相談室ますとびいーの職員

# きたひろしま暮らしサポートセンター ぽると

〒 061-1133 北広島市栄町1丁目5番地2 エルフィンビル2階

TEL : 011-887-6480 FAX : 011-373-6680

E-mail kurashi-poruto@epoch.or.jp



## 》》》 フードバンク ぼすこ

# たくさんの方々 からのご支援、 ありがとうございます！

フードバンクぼすこ はご家庭で余った食料品を寄付頂き、生活に困り食べ物を必要としている地域の方々や福祉団体等に無償で配分する活動を行っている事業です！



今年は市内3か所の他、毎月2回えぼっく本部とぽるとにてフードドライブを開催しています。また、エスコンフィールド北海道様にもご協力いただき、活動を行っています。寄付いただいた食品は、生活にお困りの方のほか、照道寺様・さっとぴー様など地域で子ども食堂を運営している団体様へお渡しさせていただきました。



学習支援「りらぼ」は、北広島市内にお住いの中学生を対象として、経済的な理由で学習のサポートを希望される方に、学習の機会の提供と居場所の提供を行っています。また、保護者の方からの進路相談や教育資金などの相談も行っています。

## 》》》 学習支援事業

### 学習支援 りらぼ

りらぼは、毎週火曜日17:00~19:00、ぽるとが入っているビルフロアの会議室にて開催しています。学習内容は数学と英語を中心にサポートしています。支援員はボランティアの大学生の他、教員免許を持ったコーディネーターの方がいます。

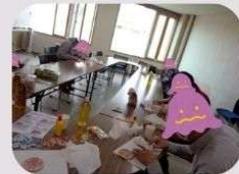
また、長期休みの期間は、定期開催とあわせて自習室として10日間ほど開催し、学習以外にもイベント企画を開催しています。



就労準備支援事業は、就労にプランクがあったり、働いた経験がなく何から始めたら良いか不安をお持ちの方、家族以外と接する機会が欲しい方などを対象に就労に向けた支援を行っています。

## 》》》 就労準備支援事業

### ほっぷ！すてっぷ！じゃんぷ！



ほっぷ！（日常生活自立支援）では、タイルクラフトや卓球などの活動を通じて生活リズムを整えていけるように、すてっぷ！（社会生活自立支援）では、ボランティア活動などを通じて意欲や自信を高めていけるよう支援していきます。じゃんぷ！（就労自立支援）では、履歴書や面接練習などを行い、就労に向け具体的な支援を行っています。

## 》》》 自立相談支援事業

ぽるとでは、食料支援、学習支援、就労準備の他にも、家計状況の見直しをサポートする家計改善支援や、住居確保給付金利用の窓口として、生活での様々なお悩みや困りごとのご相談をお伺いしています。ご相談者様と解決のかたちを一緒に考え、思いに寄り添いながら、それぞれの方に合わせたお手伝いを日々させていただいています。

主任相談支援員 酒井美弥